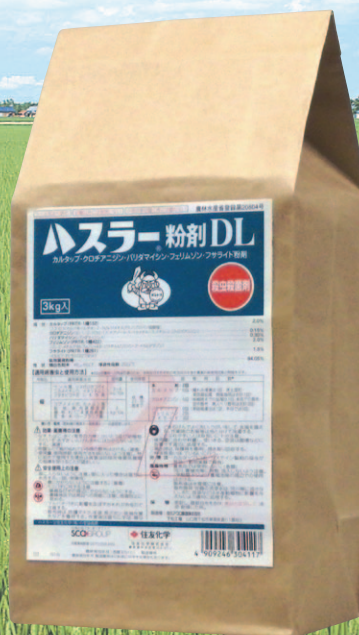


いもち病、 紋枯病、 水稻害虫の 総合防除に!!



ダントツ® (カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイなど)、
パダン® (コブノメイガ、ニカメイチュウなど)、
ブラシ® (いもち病、変色米など)、
バリダシ® (紋枯病など)
を混合した
殺虫・殺菌混合粉剤。



フタオビコヤガ



イネツトムシ



ニカメイチュウ



コブノメイガ



トゲシラホシカメムシ



ツマグロヨコバイ



トビイロウンカ



アカスジカスミカメ



いもち病



紋枯病

ハスラー 粉剤 DL

いもち病、 紋枯病、水稻害虫の 総合防除に!!

ハスラー 粉剤 DL

(カルタップ塩酸塩 2.0%、クロチアニジン 0.15%、バリダマイシンA 0.30%、フェリムゾン 2.0%、フサライド 1.5%)

「ハスラー粉剤DL」は、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイに高い効果を示す「ダントツ」、コブノメイガ、ニカメイチュウなどのチョウ目害虫に優れた効果を示す「パダン」、いもち病、ごま葉枯病をはじめ米の品質を低下させる穂枯れにも幅広く作用する「ブラシン」、紋枯病に効果の高い「バリダシン」を含む殺虫・殺菌混合剤です。

上手な使い方



カルタップを含む農薬の総使用回数

6回以内
(浸種前は1回以内、
浸種後から直播では種時又は
移植時までの処理は1回以内)

クロチアニジンを含む農薬の総使用回数

4回以内
(直播では種時又は移植時までの
処理は1回以内、本田での散布、空中散布、
無人航空機散布は合計3回以内)

バリダマイシンを含む農薬の総使用回数

6回以内
(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)

フェリムゾンを含む農薬の総使用回数

2回以内

フサライドを含む農薬の総使用回数

3回以内

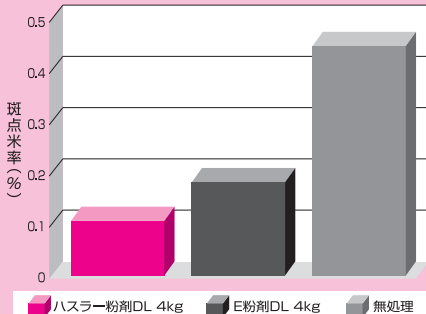
適用と使用法

2020年4月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ いもち病	3~4kg/10a	収穫 21日前まで	2回以内	散布
	コブノメイガ カメムシ類 紋枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブラリア菌)	4kg/10a			

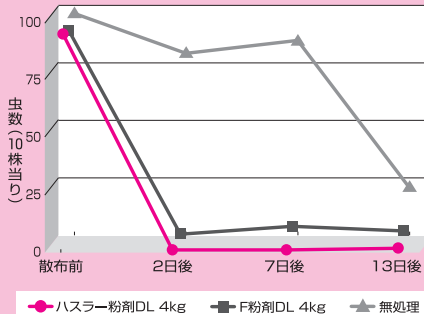
防除効果

■ カメムシ類(ホソハリ、トゲシラホシ)



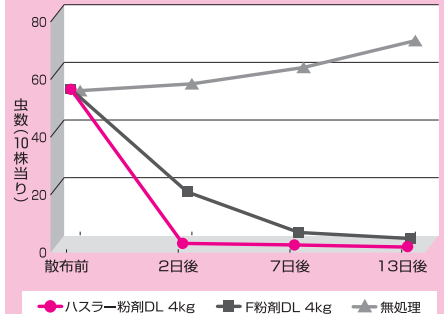
品 種: ハナエチゼン 発生状況: 中発生
出 穂: 7月19日 散 布: 8月6日(黄熟初期)
調査方法: 8月23日に各区の畦畔から2、3列目の10株を刈り
取り、玄米150g中の斑点米率を調査した。(3反復)
1999年 福井県植物防疫協会

■ ウンカ類(セジロウンカ)



品 種: セとむすめ 発生状況: 中発生
移 植: 6月23日 散 布: 8月4日(幼穂形成期)
調査方法: 散布前(8月4日)、2日後(8月6日)、7日後(8月11日)、
13日後(8月17日)に、各区25株の成虫・幼虫数を
見取り調査した。(2反復) 1998年 山口県農業試験場

■ ツマグロヨコバイ



品 種: セとむすめ 発生状況: 中発生
移 植: 6月23日 散 布: 8月4日(幼穂形成期)
調査方法: 散布前(8月4日)、2日後(8月6日)、7日後(8月11日)、
13日後(8月17日)に、各区25株の成虫・幼虫数を
見取り調査した。(2反復) 1998年 山口県農業試験場

⚠ 使用上の注意(抜粋)

- 本剤を使用した場合、チオシクロラム又はペンスルタップを含む剤は使用しないでください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見掛け比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散布機の開度を一目盛程度しぼって散布してください。
- なす、たばこ、きく(秀芳の力等)、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 雨露などで稲がぬれている時の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類、ドジョウ)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用はさけてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は園場等に放置せず適切に処理してください。

02R4D20H08:ZS

2020年4月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

